

令和5年度 第3回 市長定例記者会見

定例会見

日時：令和5年5月26日（金） 11：30～

会見内容

1. 発表事項

(1) 寄り添う福祉の取り組みについて

① 高齢者等の安心のための取り組み開始について

福祉部 高齢福祉課

② 伴走型の支援～ひきこもり相談室について

福祉部 福祉政策課 ひきこもり相談室

(2) 「紙おむつのサブスクリプション」による 保護者への育児サポートの取り組みについて

子ども未来部 子ども保育課

(3) DX推進リーダーの任命について

行政部 デジタル戦略課

1- (1) 寄り添う福祉の取り組みについて

①高齢者等の安心のための取り組み開始について

◆「岐阜市わたしのあんしん終活登録事業」

1 事業の目的

- ・ 人生の最期を安心して迎えるために「終活」への関心が高まっており、
⇒ 2020年度から毎年、
終活支援のひとつとして、岐阜市版**エンディングノート**を配布
 - ・ 近年、**高齢化の進展**に伴い**単身の高齢者世帯**や**高齢者のみの世帯**が**増加**し、
家族、親族や地域との関係が希薄
⇒ 病気などにより**意思表示ができなくなったとき**や**死亡したとき**に、
緊急連絡先やかかりつけ医、遺言書の保管場所などの
情報が分からない事態が増加
- 岐阜市の**65歳以上の単身世帯数**（国勢調査）
2000年 9,394世帯 2020年 20,523世帯 ⇒**約2.2倍**に増加
- ・ 更なる**終活支援の充実**を図るため、
⇒ 高齢者がもしもの時に、**終活に関するご本人の意思を実現**できるよう、
6月1日から「**岐阜市わたしのあんしん終活登録事業**」の受付を開始

2 事業の概要

(1) 事業の内容

高齢者が、**自分の意思**で、終活情報を**市に登録**し、
高齢者が病気や事故などで意思表示できなくなった、お亡くなりになった、
もしもの時に、
事前に登録した緊急連絡先や遺言書の保管場所などの**終活に関する情報**を、
警察署、消防署、医療機関、福祉事務所や本人が指定した方からの照会に対して、
市が本人に代わってお伝えする事業

(2) 登録対象者及び登録できる方

登録対象者は、65歳以上の市民の方で、登録できる方は、ご本人

(3) 登録方法及び費用

高齢福祉課（市庁舎1階）に申請書を提出（持参もしくは郵送）すると、
登録完了後、市から「**登録カード**」と「**登録証**」を郵送
登録費用は、**無料**

(4) 登録できる内容

終活に関する情報として、登録できる内容は、
緊急連絡先、かかりつけ医、
エンディングノートの保管場所、本人の自由登録事項 など
11項目があり、その中から**自由に登録**

◆ 「認知症高齢者等GPS機器等購入等助成金交付事業」

1 事業の目的

- ・ 近年、高齢化の進展に伴い、認知症高齢者が増加し、全国的に、認知症によって、行方不明になる高齢者が増加

・ 認知症行方不明者数が年々増加（警察庁集計）					
全 国	：	2018年	16,927件	2021年	17,636件
岐阜県	：	2018年	250件	2021年	293件

- ⇒ そのため、岐阜市では、
2020年度から、岐阜市認知症高齢者等見守り事業として、
高齢者の衣服や持ち物に貼り使用する
「見守りシール」の配布と
市が契約者となり、認知症高齢者が被保険者となる
「個人賠償責任保険事業」を開始

・ **見守りシール実績（2022年度末）274人に交付**

- ・ 見守りシールは、高齢者を発見した際の、迅速な**身元確認**に有効だが、特定の行方不明者の**搜索**には効果的でない
位置情報の確認に有効な**GPS機器**等の導入を促進するため、

- ⇒ 6月1日から、「**認知症高齢者等GPS機器等購入等助成金交付事業**」を開始

2 事業の概要

(1) 事業の内容

GPS機器（居場所を知らせる装置）の
購入またはレンタルの初期導入費用について、**最大2万円**の助成金を交付する。
また、利用者は、見守りシールと同様に「**個人賠償責任保険**」に加入でき、
認知症高齢者等の**安全・安心**と家族の**心身の負担を軽減**する。

(2) 対象者

認知症高齢者等を介護するご家族が対象

認知症高齢者等が、

- ① 市民の方、
- ② 市内の自宅で生活している方、
- ③ 認知症のため、行方不明になる恐れがある方 のすべてに該当する人

(3) 助成金の対象

GPS機器の購入費用（充電器等の付属品を含む）や、
レンタルにかかる**初期導入費用**（充電器等購入費、契約手数料等を含む）、
GPS機器を格納できる**シューズの購入費用**などが助成金の対象となる。

(4) GPS機器の条件

- ・容易に携帯できる大きさ及び重さであること、
 - ・連続動作時間が最大72時間以上であること
- の2点を満たすGPS機器が助成の対象

(5) 申請方法

購入やレンタルを開始する前に、高齢福祉課（市庁舎1階）へ相談し、
申込書を提出

②伴走型の支援～ひきこもり相談室について

1 ひきこもり相談室

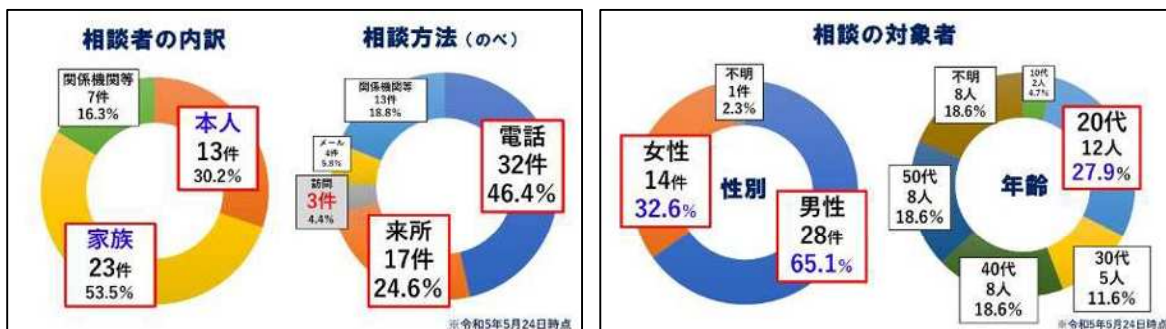
相談しやすい環境の整備により、支援の充実を図るため
令和5年度 福祉部福祉政策課内に「ひきこもり相談室」を設置し
いきなり就労への支援ではなく、
「相談に乗ってほしい」、「居場所が欲しい」という方に、
寄り添った伴走型支援を実施

2 ひきこもり相談の実績（令和5年5月24日時点）

- (1)相談件数 43件（のべ69件）（R4年度同時期：16件（のべ26件））
内訳：新規相談25件、前年度からの継続16件、その他2件
（R4年度同時期 新規相談11件、前年度からの継続5件）



- (2)相談内容の内訳



3 ひきこもり相談室の活動

- (1)今後の活動予定

- ・ひきこもり当事者の家族のつどい「ほっとcafé」を隔月開催
- ・精神科医による家族相談を毎月実施
- ・ひきこもり支援のための協議会の設置及び支援のためのガイドライン策定

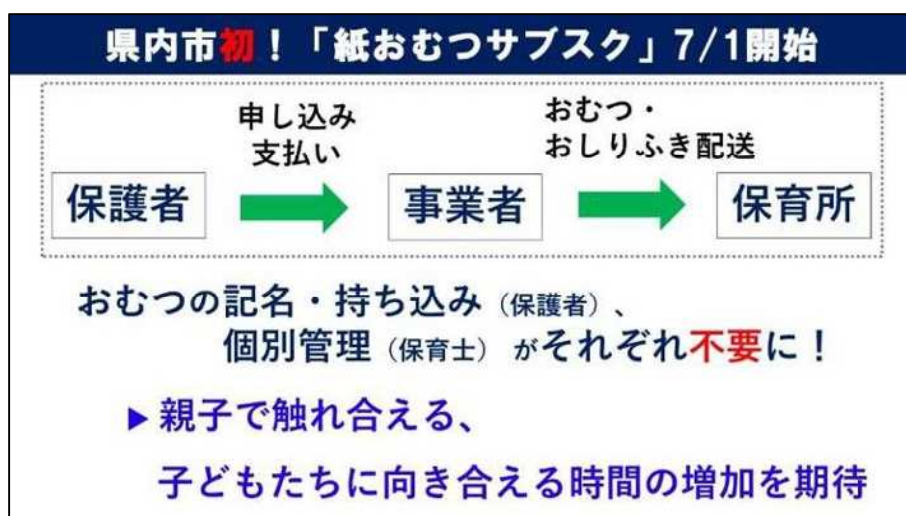
1-(2) 「紙おむつのサブスクリプション」による

保護者への育児サポートの取り組みについて

1 これまでの取り組み

- ・ 公立保育所では、使用済みの紙おむつを令和元年6月から保育所で処分、午睡ベッド、いわゆる「お昼寝用ベッド」を令和2年9月から導入

2 紙おむつのサブスク



- ・ 保護者の登園準備に係る時間短縮や荷物の負担軽減を図り、子育てをしやすい環境をさらに整えるため、民間事業者が提供する紙おむつ利用料金の月額定額制サービス＝「紙おむつサブスクリプション」を岐阜市立保育所14園で利用可能とする
- ・ 希望する保護者は、園に用意された紙おむつとおしりふきを月額定額で何枚でも利用できる
- ・ 令和5年7月1日から8月31日は無料お試し期間とする

●サービス事業者

おむつ商品名	マミーポコ	Mirafeel
サービス事業者名	BABYJOB 株式会社	株式会社ブリッジウエル
値段（月額、税込み）	2,508 円	2,300 円

1-(3) DX推進リーダーの任命について

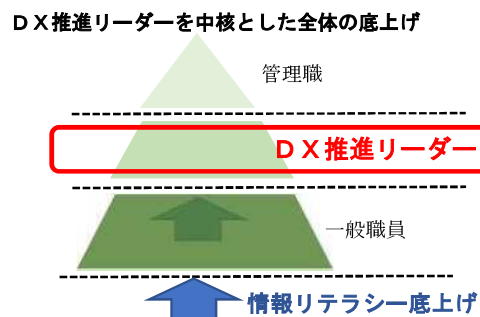
① 岐阜市におけるDX推進

- ・本市では、**市民サービスの向上**や**職員の働き方改革**を進めるため、**本年度の当初予算編成方針**において、**新たに加えた3つのキーワードの1つとして「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」**を掲げ、**行政手続きのオンライン化**など、**DXを推進**

② DX推進リーダーの任命

- ・本年度から、人材育成とともに**職員全体の情報リテラシーを底上げ**して、**更なるDXの推進**を図るため、**自らリーダーとして、率先して推進**していきたいという職員を**指名ではなく、庁内に職種を問わず公募**したところ、**若手から中堅職員まで、110名もの応募**
- ・これらの職員は、**変革の「マインド」、デジタルの「スキル」、現場での「実践力」の心・技・体の要素を、三位一体で、バランスよく習得し、本市のDXを牽引していく力**となっていく職員であり、**私自ら、新たに「DX推進リーダー」として任命**するため、**キックオフとして、5月29日（月）10時から、任命式**を行う。
- ・心技体の習得に向けた、具体的な学びは、**DXを支える「心」として、マインドチェンジに寄与する研修**
- ・DXに必要な身に付けるべき**「技」として、業務改革のツールであるMS365の活用スキルを、実際に操作しながら習得していく研修**
- ・DXを実践する**「体」として、現場目線での課題を見つけ、それをデジタルの力によって解決し、業務改革を行っていくBPRスキルを、習得するワークショップ**などを実施予定

- ・本リーダーは、
本年度から、
**職務年数に応じて、段階的に、
変革へのマインドやDXスキルを
体系的に習得していく、
「岐阜市DXリスキリングアカデミー」の
中核的な役割**も担う。



【岐阜市リスキリングアカデミーの体系図】

③ DXの強力な推進に向けて

- ・ 今後は、このDX推進リーダーを起点として、
**全ての職員に、スキルの展開を行い、
意識改革を図っていくことで
組織全体の情報リテラシーの底上げと裾野の拡大を**
- ・ 各職員が**アーリーサクセス**を積み重ね、
更なる**市民サービスの向上**や**職員の働き方改革**へ